

刊夕 日九十二月二 日九十月一十和昭

教育映畫界の現状

テ一・エ又生

世の中の人達の目を啓く... 上にも、又他の同業者やお役一般的な教育、常識教育...

私に來てゐた夕暮の小山へ... 二人して語りし想いの朽し小門の横...

雪夜園棋

珠雲 小野務平

有明燈台對棋... 人定只開丁一丁...

黄金魔刀

高桑義生作 樋口俊也書

黄金魔刀は目をさますと、... 威傷の曲(三)



黄金魔刀... 威傷の曲(三)...

季節の齒車

早崎夏衛

「木製の歯」... プロレ短歌はかつて短詩...

新妻久満男選

「遊ける吾子」美 崎 一 郎

「遊ける吾子」美 崎 一 郎... かなた言を語り初める子にあればその言...

黄金魔刀... 威傷の曲(三)...

黄金魔刀... 威傷の曲(三)...

黄金魔刀... 威傷の曲(三)...

黄金魔刀... 威傷の曲(三)...

社員採用... 固定給拾圓外手当支給...

日本商事株式会社平支部... 平町鍛冶町十八...

平町三井ハキモノ店... 電話一八一番...

平製米... 日本米産特約...

急告... 豆タク!

阿康藥局... 胃腸藥... 靈効散...

白馬の雪... 辰の日本店...

高島屋洋服店... 洋服大特賣...

桑原柔道整骨院... 電話六七四...

山内醫院... 耳鼻咽喉科専門...

鈴木醫院... 鈴木正男...

吉田眼科醫院... 平町紺屋町電話六八番...

鈴木醫院... 鈴木正男...

平牛乳舎... 第一質品...

流言浮説に迷はず

伊藤縣知事からの告諭 平署で各方面に通達

平署では今二十九日伊藤知事からの左記告諭を管内巡査駐在所並に町村役場に通達した

四圓五十銭見當

中央糸價の昂騰から地方の 籾價は昨年来好調を辿つて

籾の騰貴は正に「黄金時代」を誘つてゐるが、専門家の話によると

産業組合を強化せよ

中西農林書記來部 講演會日決定

石城産業組合では既報の如く、六月六日を中心として、臨時強化週間に際して

武道優勝記念

三月三日小学校で 在軍夏井村分會武道優勝記念大会

三月三日小学校で 在軍夏井村分會武道優勝記念大会が三月三日午前十時

第一學藝會 平第一に次いで鐵道産産會長長東京 校では今二十九日午前九時高等洋裁學校校長渡邊慶重

杉本氏講演

第七日女青講學會 既報一節聯合女子青年團の 幹部講習並に評議員會は來

大敷網活動開始

不漁續きの各濱意氣込む 青森地方からの 大敷網活動開始

小名濱同事務所でも來月 中旬頃から投網を開始す

童心をむしばむ

無理な勉強は慎め 平三小學校長連名の下に

けふ父兄に通知 小學校に於ける上級學級 進學準備教育に就いては

躍進する大平町

町長青沼さん一と苦勞 新豫算見直し

四十九萬九千二百圓！こ 積極豫算を纏つて質問の矢

和緩春のみ惱

任教師、兒童、父兄が泰で 左記の如き三校連名の通知

そのものに他ならぬ、斯く 緩和に努むる事になつた

俄然ト口が轉覆

青年人夫重傷死 赤井村大字大倉農務武雄(三)は一月二十七日午

勿來町豫算

大体四萬七千圓 勿來町の十一年度豫算は過

簡易乾繭器設置獎勵

郡下でその數二百十六 縣では補助金を交付して前

農事向上策指示

きよふ平團体事務所 郡下の町村農業技術員並に

船長に咬みつ

共同出資造船問題で 江名町の告訴沙汰

婚嫁の暴行

別居から告訴 江名町大字中の作字根戸元長田太陽光船長吉田喜好

酒井ミヨ女

平町平陽女學校校長酒井瀧次 氏母堂ミヨ子刀自は永々病

母トキ儀永々病氣中ノ處藥石効ナク本日午前八時三分長逝仕候間此

差ない約四萬七千圓、尙當 日昨十二月竣工した關田 小學校の竣工式を取り決

赤井村大字大倉農務武雄(三)は一月二十七日午 前九時頃平陽村大字中窪地内赤井川改修工事に

郡下でその數二百十六 縣では補助金を交付して前 易乾繭器の設置を獎勵した

きよふ平團体事務所 郡下の町村農業技術員並に 説明、今後一層農事の改

共同出資造船問題で 江名町の告訴沙汰 漁船太陽光船長志賀吉(三)を鐵拳で毆つたり咬み

別居から告訴 江名町大字中の作字根戸元長田太陽光船長吉田喜好 (三)は去る八日夜八時頃江ついでして全治二週間の

平町平陽女學校校長酒井瀧次 氏母堂ミヨ子刀自は永々病 氣の處藥石効なく二十七日午前

母トキ儀永々病氣中ノ處藥石効ナク本日午前八時三分長逝仕候間此 日午後一時ヨリ三時マテ平町明神寺ニ

母トキ儀永々病氣中ノ處藥石効ナク本日午前八時三分長逝仕候間此 日午後一時ヨリ三時マテ平町明神寺ニ

月曜除新 二祭未三 三祭未三 日曜宿日

宮城縣社竹駒神社 初午大祭典 三月一日(舊二月八日)より七日迄七日間

神輿渡御及古奴騎馬行列 (初日及中日)二日間

謹啓母ミヨ儀永々病氣之處藥石効 無く二十七日午前三時死去致候間

平陽女學校校長酒井瀧次 氏母堂ミヨ子刀自は永々病 氣の處藥石効なく二十七日午前

母トキ儀永々病氣中ノ處藥石効ナク本日午前八時三分長逝仕候間此 日午後一時ヨリ三時マテ平町明神寺ニ

母トキ儀永々病氣中ノ處藥石効ナク本日午前八時三分長逝仕候間此 日午後一時ヨリ三時マテ平町明神寺ニ

母トキ儀永々病氣中ノ處藥石効ナク本日午前八時三分長逝仕候間此 日午後一時ヨリ三時マテ平町明神寺ニ

母トキ儀永々病氣中ノ處藥石効ナク本日午前八時三分長逝仕候間此 日午後一時ヨリ三時マテ平町明神寺ニ

平陽女學校同窓會 昭和一十一年二月廿七日 昭和一十一年二月廿七日 昭和一十一年二月廿七日